

2020年度（第41回）関西高等学校ゴルフ選手権決勝大会

2020年度（第41回）関西中学校ゴルフ選手権決勝大会

<主催>関西高等学校・中学校ゴルフ連盟

<後援>関西ゴルフ連盟

<後援>スポーツニッポン新聞社

開催日 2020年11月18日（水）、19日（木）、20日（金）

開催コース 花屋敷ゴルフ倶楽部 ひろのコース

TEL 0794-72-0151

<ローカルルール>

- アウトオブバウンズは白杭または白線のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他の区域に止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
- 修理地は青杭または白線によってその縁を定める。
- レッドペナルティーエリアは赤杭・赤線によってその縁を定める。
- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
- 13番ホールに設置の防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。
- 動かさない障害物と白線でつながれている区域はその動かさない障害物の一部とみなす。
- 特定の用具の使用制限
 - 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。
 - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型G-2』を適用する。
 - 『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。
 - 『動力付き移動機器の使用禁止・ローカルルールひな型G-6』を適用する。
- 規則 10.3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中、キャディーの使用を禁止する。

この条件の違反の罰はローカルルールの違反の罰：

 - プレーヤーはキャディーに援助してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - 違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- 規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
- 危険な状況のためのプレーの中断は、1回のサイレン及びブザーによって伝えられる。その他すべての中断はサイレン及びブザーにより伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開はサイレン及びブザーによって伝えられる。（規則5.7b参照）
- 競技の短縮
委員会はコースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

<注意事項>

1. 競技の条件およびローカルルールに追加・変更のあるときは、クラブハウス所定の位置に掲示する。
2. スタート時刻30分前には大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻15分前には必ずティーイングエリア周辺で待機すること。
3. プレーは迅速に行わねばならない。特に先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーの不当な遅延は、規則5.6aにより罰せられることがある。
4. 本競技は、原則として18ホール・ラウンドスルーとする。9ホール終了後、競技者はプレーの遅延にならない限りクラブハウス内に立ち入ることができる。
5. ジェネラルエリアのディボット跡、グリーン上にできたボールマークは必ず修復すること。
6. ラウンド中、競技者は部外者（保護者、コーチなど）からアドバイスをもらったり求めたりしないよう十分注意すること。これを怠ると規則10.2により罰せられることがある。
7. 練習日、競技日ともに打球練習場は使用できません。また、花屋敷GCよかわコースの練習場も使用できません。近隣の練習場をご利用ください。
8. 競技中の服装は日本高等学校中学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定を守ること。（日本高等学校中学校ゴルフ連盟HP参照）
9. 本競技のティーマークは高校男子、中学男子は黒マーク、高校女子、中学女子は白マークとする。

競技委員長